

日本SETI研究会 (SETI.JP) の創設について

○鳴沢 真也¹ 尾久土 正己² 米澤 樹³ 岸裏 一起³ (1.兵庫県立大学 2.奈良県立大学 3.みさと天文台)

筆者らは今年、SETI（地球外知的生命探査）の科学的研究を主目的として「日本SETI研究会 (SETI.JP)」を設立した。設立日は66年前にオズマ計画がスタートした4月8日とした。5月28日現在での会員数は12名である。

SETI66年の歴史上最も有名なWow信号（例えばHarp et al. 2020 AJ 160, 162）が受信されて50周年となる来年夏に、この電波源方向を世界合同で集中観測することと呼びかける予定である。本会としては、和歌山県紀野美町みさと天文台の8 m電波望遠鏡を用いての観測を計画しており、現在準備を進めているが、創立に合わせ記者会見を行い、6月上旬までは、マスメディアによる広報活動や会の組織体制の構築、クラウドファンディングの準備を行っていた。これらのひと段落する、7月ごろから本格的な活動が始動できる状況である。

本会は、また一般への普及活動も活動の目的としており、手はじめにホームページ上で一般向けの解説コーナーを設けている。

なおSETI.JPは、会費制ではなく、クラウドファンディングや寄付金による団体運営を行う予定である。調達資金は、みさと天文台 8m 電波望遠鏡の修繕費や観測にかかる備品購入費、広報活動費等に充当する。

本会の規約や役員名簿等の詳細はSETI.JP の公式サイト (<https://seti.jp/>) を参照されたい。

